

糶谷

糶谷地区地域情報誌

令和7年9月1日号 第67号

発行：地域力推進糶谷地区委員会

編集：糶谷地区地域情報誌編集委員会

事務局：糶谷特別出張所 TEL3742-4451 FAX3742-4479



飲料水確保訓練の様子

逃げ込む場所 から 災害に立ち向かう場所

「避難所」 ↓ 「学校防災活動拠点」

私たちは、阪神・淡路大震災や中越地震などの災害を何度も経験し、そして、災害から得られた教訓をもとに防災対策に取り組んできました。地域においても消火訓練や避難所開設の訓練など実施してきました。それでも東日本大震災では、信じがたいほどの大きな被害や多くの犠牲が生じ、また新たな教訓を得ました。そのひとつが「地域での支えあい」です。被災地域の方々は、大切な命を守り、生活に安全と安心を取り戻すためには、地域全体で共に支え合うことが大切だと痛感したそうです。

私たちが住む大田区では、阪神淡路大震災以降、学校を災害から逃げ込む場所である「避難所」から東日本大震災の教訓と経験をふまえ、「学校防災活動拠点」として、支え合い災害に立ち向かう場所へと強化・充実が図られています。

糶谷地区では糶谷中学校・羽田中学校・北糶谷小学校・糶谷小学校・東糶谷小学校の五校が学校防災活動拠点となります。活動内容はまず校舎の安全を確認後、避難所の開設・避難者の受付・誘導・救護・避難所での生活支援活動に加えて、情報収集・地域全体の防災活動・防犯活動・在宅被害者の支援活動、地域の復旧活動など多岐にわたります。救援物資の配給やボランティア調整・要援護者支援や帰宅困難者対応なども含まれます。災害時には誰かの助けを待つのではなく、自分たちの力で「学校防災活動拠点」を運用して、災害に立ち向かうこととなります。避難所を開設し避難民の受け入れ、地域の状態を把握し、地域住民の安否確認、救出・救助への対応も必要です。備蓄品や救援物資の仕分け配給など活動内容は多岐にわたります。災害時に迅速に対応できるように「学校防災活動拠点」で

はそれぞれに拠点訓練を実施しています。拠点役員は拠点訓練の中で、災害備蓄品の内容を把握し、避難所の運営管理方法を始めとして非常用トイレ・発電機・投光器・通信機材などの設置・使用方法も学習しています。

「学校防災活動拠点」は町会・自治会・学校・出張所が中心となつて拠点役員が構成され運営されます。いつ来るかわからない災害に立ち向かうために、地域の皆様のご協力をお願いします。(岡)

従来の避難所



学校防災活動拠点

